

管内医療機関の 今後の役割について

令和7年（2025年）7月 熊本県健康福祉部

協議事項の概要

- 福田病院から、担う役割の変更について申出があった。
- 地域医療構想調整会議の協議事項として、「各地域調整会議において「政策医療を担う中心的な医療機関」の役割について協議を行う」ことが第1回熊本県地域医療構想調整会議及び第1回熊本・上益城地域医療構想調整会議において合意されている。

【参考1】熊本・上益城における政策医療を担う中心的な医療機関

熊本大学医学部附属病院、熊本医療センター（NHO）、熊本赤十字病院、済生会熊本病院、熊本中央病院、熊本地域医療センター、熊本市立熊本市民病院、熊本機能病院、くまもと森都総合病院、杉村病院、大腸肛門病センター高野病院、**福田病院**、慈恵病院、矢部広域病院、山都町包括医療センターそよう病院

- 福田病院の担う役割については、令和5年7月の第11回熊本・上益城地域医療構想調整会議で合意されているが、役割を大きく変更（分娩施設の集約化に対応するための病床及び乳がん治療のための専門病床確保のための増床）することから、改めてその担う役割について協議いただくもの。

【参考2】第11回熊本・上益城地域医療構想調整会議議長発言（議事録から抜粋）

「合意が多数でございましたので資料1－1から資料1－6についてはすべて合意といたします。もし今後医療機能を大きく変更することがあれば改めて協議が必要となりますのでよろしくお願いします。」

3 具体的な計画

(1) 今後提供する医療機能に関する事項

【① 4 機能ごとの病床のあり方 その1】

単位：床

病床機能	2022年(令和4年)	2025年(令和7年)	備考
高度急性期	30	30	
急性期	131	131	
回復期			
慢性期			
その他			
合 計	161	161	

※上表の他、コロナ特例病床が別途6床あり

3 具体的な計画

(1) 今後提供する医療機能に関する事項

【②診療科の見直し】

	現時点 (2022年 4月時点)	2025年	理由・方策
維持	産科、婦人科、小児科、 新生児内科、乳腺外科、 肛門外科、麻酔科	産科、婦人科、小児科、 新生児内科、乳腺外科、 肛門外科、麻酔科	
新設			
廃止			
変更・統合			